

# 第4章 生涯学習

## 第1節 概要

### 1 新しい時代に対応した生涯学習の推進

生涯学習体系への移行を目指し、生涯学習推進組織の整備、学習情報の提供や学習機会の拡充など、県民の生涯にわたる学習の基盤づくりに努めた。

#### (1) 生涯学習推進組織の整備充実

県生涯学習推進本部の連絡・調整機能の強化を図るとともに、平成5年2月に「第4次福島県長期総合教育計画」の個別計画である「生涯学習振興計画」を、県生涯学習審議会の意見を聴取しながら策定し、生涯学習の総合的な振興を図ることとした。

また、市町村の生涯学習推進体制づくりを促進するため、生涯学習モデル市町村を指定し、市町村における生涯学習推進組織の設置促進及び特色ある関連事業の実施促進を図るとともに、生涯学習のまちづくり推進企画会議の充実に努めた。

#### (2) 生涯学習の普及・啓発の推進

##### ① 生涯学習情報提供事業の拡充

多様化・高度化している県民の学習ニーズに対応する学習情報提供の充実を図るため、従来からの情報提供事業と併せて、最新の学習情報を迅速に提供できるよう、3年度より3ヶ年計画で、コンピュータを利用した生涯学習情報提供システムの整備を図っており、6年度の供用開始を目的に、4年度はシステム設計への着手とホストコンピュータの導入を行った。

##### ② 「生涯学習ふくしまフェア」等の開催

「生涯学習ふくしまフェア」を開催し、3,000名を超える参加者のもと生涯学習についての記念講演や生涯学習トーク、学習成果の発表や展示などの多彩な催しを行うとともに、県内各地で生涯学習シンポジウムを開催するなど、広く生涯学習への理解の醸成と各人の学習を深めるきっかけづくりに努めた。

##### ③ 「ふくしま・フレッシュ・ふれあいデー」の普及

県生涯学習推進本部の主唱により、生涯学習の振興を図る観点から学校週5日制の実施を契機として毎月第2土曜日を「ふくしま・フレッシュ・ふれあいデー」（略称：3Fデー）とし、家族や地域の人々、自然や文化・スポーツとのふれあいを促進し子ども達の豊かな人間形成を図ることとし、その普及に努めた。

#### (3) 生涯学習施設の整備

##### ① 生涯学習拠点施設の整備

「第4次福島県長期総合教育計画」に「県民の生涯学習を支援する中心的な役割を担う施設の整備に努める。」ことを謳い、基本的調査・研究に努めた。

##### ② 生涯学習施設のインテリジェント化の検討促進

文教施設など生涯学習施設等の整備に当たっては、地域の自然や文化を取り込み、高度の情報通信機能や快適な学習・生活空間を備えるなど、各種機能の集約化（インテリジェント化）を図る施設整備の在り方について、理解の醸成を図りその整備促進に努めた。

## 第2節 生涯学習推進本部

### 1 生涯学習推進本部会議の開催

#### (1) 第1回本部員会議

期 日 平成4年5月18日

出席者 本部長、副本部長以下12人

内 容 ・平成4年度生涯学習関連事業について  
・学校週5日制の実施に伴う対応策

#### (2) 第2回本部員会議

期 日 平成4年9月7日

出席者 本部長、副本部長以下12人

内 容 ・学校週5日制の実施に伴う対応策  
（「ふくしま・フレッシュ・ふれあいデー」普及要綱について）

### 2 生涯学習推進本部幹事会の開催

#### (1) 第1回幹事会

期 日 平成4年5月13日

出席者 議長（事務局長：教育次長）以下27人

内 容 ・平成4年度生涯学習関連事業について  
・学校週5日制の実施に伴う対応策

#### (2) 第2回幹事会

期 日 平成4年9月4日

出席者 議長（事務局長：教育次長）以下27人

内 容 ・学校週5日制の実施に伴う対応策  
（「ふくしま・フレッシュ・ふれあいデー」普及要綱について）

### 3 生涯学習推進本部担当者会の開催

期 日 平成4年6月10日

出席者 座長（生涯学習課長）以下56課参加

内 容 ・平成4年度生涯学習関連事業について  
・学校週5日制の実施に伴う対応策  
（「ふくしま・フレッシュ・ふれあいデー」普及要綱について）

## 第3節 生涯学習モデル市町村の指定と生涯学習のまちづくり推進企画会議の開催

### 1 平成4年度指定市町村の実施状況

#### (1) 白 沢 村

##### ① 推進体制

ア 推進組織名 白沢村生涯学習推進本部

イ 組織の構成

・生涯学習推進本部

本部長 村長 副本部長 助役、教育長

委員（35人） 行政関係者、関係機関、関係団体代表者、学識経験者